

第九たいむず



No.38 2008. 3. 6

通刊781 担当 鷹箕



ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233(団長渡辺) 携帯電話: 090-1828-8052(事務局長小野里)

♪先週の練習内容について

★ポローヴの巡視(男声)

- P 11 1段目 Bass I をテノール I II で、Bass II をベース I II で歌います。
Ten. I をテノール I II で、Ten. II をベース I II で歌います。
3・4小節目 Ten. II の5つの音は「お」「く」「り」「だ」「す」と歌います。

★ハンの誉め歌(全体)

※練習に打楽器が入りました！ボンボ(太鼓の1種)とシンバルです。今後もトライアングルなど加えていく予定。

- P 29 4段目～P 30 1段目 テノール I II 一緒に歌います。
- P 30 2段目「O」からカット、P 33「P」へ飛びます。
※P 33へ飛んだらすぐに歌い出しです！忘れないように P 30の終わりのところで「次は P 33. すぐ歌う。出だし強く *f*、速いまま。」などメモしておきましょう。
- P 33 「P」テンポは前(P 30)のまま歌います(かなり速めです)。曲奏が変わるので、それに合わせて緩やかにならないように注意しましょう。
- P 33 1段目から *p* ではなく *f* で歌う。音量はソプラノにあわせる。
- P 34 2段目 *mp* で歌う。(全体に共通しているが特に)単語の頭を歌う。
- P 41 ソプラノ 出だしの音注意。P 40まで男声合唱だったので、慌てて歌い出さないように準備しておきましょう。

★景気よく さあ酒を(全体)

- 歌う音: アルトは Sop. の段の和音の下(3つの和音になっているところは真ん中の音)、
テノールは Ten. の段を2声に分かれずに上の音を全員で歌います。
- 全体的に、休符の位置をもう一度確認し、切るところはきちんと切りましょう。

★乾杯の歌(全体)

- 歌うところ: CHORUS と書いてあるところ(P 57 4段目 C～P 58 1段目まで。P 59 3段目 122小節～P 60 1段目142小節まで。P 61～P 63まで。)
- P 61～P 63 テノール 2声に分かれずに、全員上の音を歌います。
- P 63 190小節の和音 女声は3声に分かれ、上からソプラノ1、ソプラノ2、アルトとなります。

♪「第九」活動写真展 3月9日(日)まで展示(市役所中2階) 【テノール 林】

今、高崎市役所庁舎中二階でボランティア団体等の活動写真展を開催しています。出展している団体は、高崎市を拠点として活動している団体40。うち、9団体が我が合唱団と同じNPO法人(特定非営利活動法人)です。

模造紙1枚に、自分たちの活動状況を示す写真や文章を貼り付け、それぞれPRしています。写真展に訪れる人々は、高崎第九合唱団の活動が音楽センターでの公演にとどまらず、ヨーロッパ公演やボランティア、出前コンサートなど精力的な活動をしていることに目を見張っていました。

市役所の業務時間は午後5時半までですが、通常午後10時半まで開放しています。照明がおとされますが、見ることは可能です。最終日の9日(日)は午後3時までとなります。この日は終了後撤収してしまいます。



♪メイコンサートの楽譜(400円)、練習用CD(100円) 販売中

♪コンサート情報

オペラ「夕鶴」(木下順二作 團伊玖磨作曲) つう:永井隆子/与ひょう:田村稔/惣ど:住谷伴
3月29日(土)午後6時開演 桐生市市民文化会館小ホール 入場料:2500円(全席自由)
☆チケットのお求めは 田村先生、住谷先生まで

メゾソプラノ諸田広美帰国記念リサイタル「Eccomi!」 ピアノ:ユリヤ・レヴ
4月12日(土)午後7時開演 群馬県民会館小ホール 入場料:前売2700円、高校生以下1500円
諸田広美:前橋市出身、東京二期会会員。2006年ミラノにて「カルメン」でデビュー。

♪今後の練習日程(毎週木曜日、3月20日・5月29日・12月25日だけお休み)

3月6・13・27日、4月3・10・17・24日、5月1・8・15・22日

※3月20日(祝) 教会が使用不可。群響合唱団の行事とも重なっている為、お休みになりました。

※5月15日が合唱練習としては最終週。5月22日は総会 & ミニコンサート

※6月5日以降12月18日まで毎週木曜日練習。7・8月の練習会場は高崎市中央公民館へ

♪大学の定期オペラ公演

【ソプラノ 小林薫子】

2月21日(学内公演)、23日、24日(一般公演)に私の通っている東邦音楽大学の定期オペラ公演が、大学のホールで行われました。この公演は隔年で行われていて前回(2006年)の第1回目はモーツァルトの「魔笛」、今回の第2回目はモーツァルトの「フィガロの結婚」でした。

この定期オペラは大学生、大学院生、研究員、卒業生、教員が混在して出演しています。今回は東邦音楽大学創立70周年の記念公演ということもあり、今までの中でも一番盛大に行われていたように思えます。数年前まではオペラ公演も学園祭の中で行っていたために制限時間があり、大幅なカットをせざるを得ない状況でもありました。ちなみに当時は日本語での公演でした。

今回の公演ですが、原語のイタリア語上演、全4幕、日本語字幕付で行われました。私は23日に行きましたが、この日のキャストについて大学生はもちろんのこと、教員、東邦音大出身の研究員(二期会会員の方)も多く入っていました。さすがに歌も演技も素晴らしいものでした。また、特別出演ではモーツァルト役で以前、教育テレビのイタリア語の番組に出演されていた、ダリオ・ポニッスイさん(東邦音楽大学特任教授)も出演されました。舞台装置はモーツァルトの楽譜をイメージしてダリオさんがデザインしたものを舞台美術デザイナーに更にデザインし直して再現して頂いたようです。

出演者の皆さん(特にソリスト)は、8月終わり頃から約半年間、夜も結構遅くまで厳しい練習に耐え、オペラを成功させるために頑張っておられたようです。去年5月にフィガロのソリストのオーディションがあり、私も受けたかったのですが、師事している先生にそのことを話せなかったために受けずに終わってしまいました。一昨年の4月に編入した時からオペラに出演できるのを楽しみにしていただけあってすごく残念です。次回の公演は2010年になると思いますが、それまでには大学より合格するのが遥かに難しいと言われている大学院に頑張ってお合格し、ソリストで出られるようにしたいです。また、後悔することのないように頑張ります。ちなみに今回の公演の指揮者は吉田裕史さん、合唱は東邦音楽大学、短期大学の学生(ソリストを除く)、オーケストラは東邦音楽大学管弦楽団でした。

♪K バレエカンパニー 新作バレエ「ベートーヴェン第九」

赤坂 ACT シアター プレミアムオープニングとして、熊川哲也率いる K バレエカンパニーがオーケ・合唱と共にベートーヴェンの第九を演じます。

3月14日(金)~20日(木) 赤坂 ACT シアターにて連日公演(17日は除く)

演奏:シアターオーケストラトキョー 合唱:藤原歌劇団合唱部

独唱:(ソプラノ)野田ヒロ子・佐藤亜希子、(メゾ・ソプラノ)森山京子・向野由美子

(テノール)中鉢聡・村上敏明、(バス)久保田真澄・田島達也

指揮:福田一雄・井田勝大 演出:熊川哲也

プレミアム席25000円/S席20000円/A席18000円

※ 第九のフル演奏とバレエのコラボレーション、お試しあれ。

※ HPはこちら→<http://www.k-ballet.co.jp/schedule/08-symphony.html#skte>

※ 赤羽先生は鑑賞されるそうです。感想が聞きたいなあ。